

知事に2025年度予算要望、全352項目

日本共産党埼玉県委員会と党県議団



右から伊藤県議、柴岡党埼玉県委員長



大野知事、副知事3人と懇談中

日本共産党埼玉県委員会と同埼玉県議団は10月18日、2025年度の県施策と予算編成に対する重点要望・提案を大野知事に提出し、懇談しました。柴岡県委員長が「県には県民の暮らしと命を守る役割を果たして欲しい」と求めたのに対し、知事は「この要望は県民に非常に近い立場で声を聞き、意見をまとめたものと受け止めている。要望内容は担当に対応を検討するよう求める」と応じました。

柴岡県委員長は「物価高騰の中、悲鳴に近い声が私たちのもとに届いている」と述べ、県水道料金引き上げ方針の見直し、学校給食の無償化、能登半島地震の被災地復興支援と県内の災害対策などを求めました。

県議団から、要望内容の概要を説明。ふじみ野・三芳からは、三芳スマートインター周辺を含めての安全対策や特別支援学校の新設、土地利用規制法に基づく住民への説明責任、農業者支援などを求めました。

★12月県議会、ぜひ傍聴ください。

12/2(月)～12/20(金)で調整中

埼玉県議会には、親子傍聴席もあります。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.38

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年11月3日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

県私立保育園連盟と県との懇談

10月28日に行われた懇談に、私も同席させて頂きました。保育士不足は深刻です。その中で、「質の高い保育」に加え、「不適切保育・事故防止」と「安全対策」が求められています。保育士の賃金アップ、労働条件、保育職場の地位の向上を改善しなければ、問題解決はされません。

「配置基準以上に保育士を配置して頑張っている。補助額だけでは正規職員を雇えず、施設の持ち出しとなる。頑張っている保育現場を見て欲しい」と切実な声が続きました。

私からは「54%の子どもが保育所で生活している。こどもに寄り添える環境を整備するのが政治の責任。ともに、学び前進させていきましょう」とご挨拶しました。



パーソナリティーの三遊亭鬼丸さんと

ラジオ(NACK5)でトーク 「もっと身近に県議会」

県議会の取り組みとして昨年度からスタートしたラジオ広報。今回は私が党県議団を代表して出演します。会派の構成人数で割り振られた時間は、わずか3分。地元の名産品紹介では大好物の「富の川越いも」を紹介しました。放送は11月27日(水) GOGOMONZ のワンコーナー14時6分からです。

党県議団の長年の要求が実現！ 朝霞児童相談所が来年4月に開所

党県議団は川越、所沢児相の所轄人口が110万人と、国が示す所轄人口の目安100万人を超えているため、新たな児相の設置を求めています。

同児相には県内6番目となる一時保護所が付設され、5月頃から児童の受け入れを開始する予定。定員は30人。県設置の一時保護所の定員総数は150人から180人に増加します。所轄区域は、ふじみ野市、三芳町、富士見市、朝霞市、志木市、和光市、新座市です。朝霞は県内8カ所目の児童相談所となります。



「9月議会を振り返って」

10月にテレビ埼玉で放送された県議会のコーナー。「もう一回、やらせて下さい」とお願い中の伊藤県議。

ノーベル平和賞受賞

日本原水爆被害者団体協議会(被団協埼玉)と懇談



「語り部にどうぞ呼んでください」と朗らかな皆さん



相談所としての役割も担う埼玉の事務所

12月の授賞式の準備で大忙しの中、蕨市内にある被団協の構成団体であるしらさぎ会の皆さんと懇談させて頂きました。

学校での被爆体験の語り部や被爆者からの相談、世界中へ向けての運動、続けられるまで頑張りたいと、強い思いが伝わります。毎年、しらさぎ会が原爆死没者慰霊式を実施しています。高齢となり、猛暑の中での実施は大変です。県庁近くの別所沼公園には慰霊碑が建っており、近年まで碑前で実施していました。来年80年目は、県が主催してくれれば良いと話されていました。

賑わった産業祭

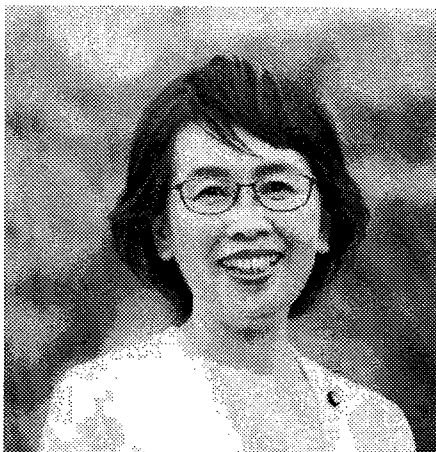
美味しいものがいっぱい。ファミリーで楽しめる企画もいっぱい。地元産業をしっかり支援したいです。



11月10日三芳町



11月3日ふじみ野市



伊藤はつみ

県政のとびら NO.39

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年11月17日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



矢島恒夫さんと増子典夫さん
お元気です

「父の爪は、全部はがされていた」 治安維持法の犠牲者に国は賠償せよ



会長の加藤さんを囲んで

埼玉県の治安維持法同盟が創立50周年を迎え、記念の集いに参加してきました。治安維持法が公布されて、来年で100年。この悪法で戦争に反対した多くの人々が弾圧されました。拷問により虐殺された人93人、獄死者400人以上。政府は未だに謝罪も賠償もしていません。同盟では、毎年犠牲者の名誉回復を求めて国会請願を続けています。

集いではご遺族の方からなぜ、捕えられたのかが語られました。「結核の調査を行い、報告書をまとめたただけなのに治安維持法違反だと。医師になることもあきらめ、刑務所から帰ってきた父の爪は全部はがされていて、ヨロヨロとした文字しか書けなかった。でも、戦争反対の意思は生涯つらぬいた」と。

先人の命がけの闘いがあったからこそ、今の私たちがあるのだと学ぶこといっぱいでした。

ナラ枯れ対策に支援を 伝統農法を守れない

落ち葉堆肥農法の要である雑木林は、全国で広がるナラ枯れで危機的状況です。私が訪問したさつまいも農家さんでは、虫の入った木を伐採して家具をつくり、リサイクル活用をおこなっています。しかし、伐採経費が高く、支援なしには続けられません。

県施設にベンチを設置することも提案されているそうです。



県政要求共同行動決起集会

県内の各分野の団体で構成された県民要求実現埼玉大運動実行委員会と埼玉県社会保障推進協議会は、11月5日、県に対して要請行動を行いました。

県議団からは私が参加し、県政報告と連帯の挨拶で激励しました。



ここが居場所だよ

身近な地域で精神障害者生活支援の施設を



地域活動支援センター「さくら」を訪問

11月12日精神障害者就労支援施設 B 型・地域活動支援施設と相談事業を行っている、ふじみ野市にある「こころ会」に伺いました。

「作業とプログラムを組み合わせ、家とは別の最初の居場所となれば…」と施設長。自宅から長い間出て来れなかった人が、ここに通うようになり、見違えるように変わっていく様子も話いただきました。オンラインゲームしたり、イラスト描いたりもできます。一人になりたい時は、隠れ部屋のような個室もあり。作業も行って工賃も得られます。こんな施設がもっと多く身近にあると良いと感じました。

埼玉で唯一の世界農業遺産

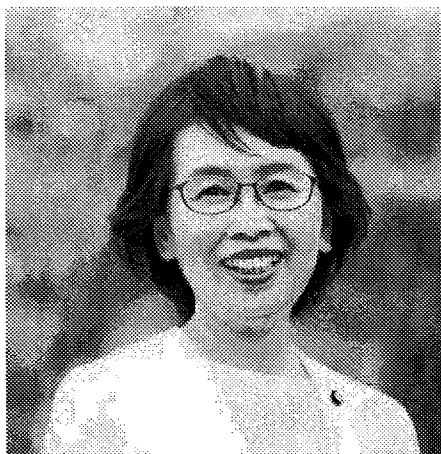
お客を呼び寄せる努力

商品開発アイデアマンのお茶の田畑園さん(三芳町)にうかがいました。お茶アイス、ほうじ茶焼酎、一口羊羹、緑茶コーラ…。息子さんはキッチンカーでイベントに出店し、若い人たちにもお茶を楽しんで欲しいと工夫していらっしゃいます。

金箔塗りの茶器で和紅茶をいれて頂きました。お客を待っているのではなく、呼び寄せる努力をしないとダメだというお話に引き込まれてしまいました。



金箔茶器と陶器茶器で飲み比べ中



伊藤はつみ

県政のとびら NO.40

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年12月1日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

地域活性化のためにも中小業者に支援を 埼玉県商工団体連合会が県と懇談



懇談の冒頭にあいさつする伊藤県議

11月22日、埼玉商連が県に要望書を提出し懇談。私も同席しました。コロナ感染防止対策協力金での支援、納税等の緩和措置が終了する中、物価高騰は営業とくらしを厳しい状況にしています。参加したスナック店主は「コロナで外飲みの文化が無くなってしまった。支援金も無くて経営は本当に大変」と話されました。

営業を続けられるように、地元優先に官公需の仕事発注を、県の住宅リフォーム助成制度の創設、融資ではなく補助をなど切実な要求が続きました。日本の経済の99%を支えてきたのは中小業者です。一人も取り残さない施策を求めています。



「保育士募集しても来ない」

11月15日は、ふじみ野市の麦っ子保育園を訪問しました。赤ちゃんたちが眠る保育室の脇を通り抜け静かに事務室へ…。麦っ子は、60人定員の小規模な認可保育所で、ゆったりとした保育を行っています。

懇談では、保育所の「公定価格」(公から保育所に支払われる委託費)の引き下げが話題となりました。これまで東京都内より人件費を低く算定されてきたことから、知事をあげ超党派でこの引き上げを国に要求してきたにもかかわらず、引き下げ。ますます東京都との格差が広がります。国への働きかけ、県の支援なしには保育士不足は解消しません。

伊藤県議の一般質問 傍聴のご案内

○12月9日(月)14時半

直接、県庁内の県議会棟にお越しください。傍聴控え室をご案内します。質問は15時から始まる予定です。



特別支援学校の関係者と懇談
「増設して欲しい」の声が続出



JAいるま野の収穫祭

12月議会 伊藤はつみ県議 一般質問

埼玉県原爆被害者協議会との懇談 知事が調整中

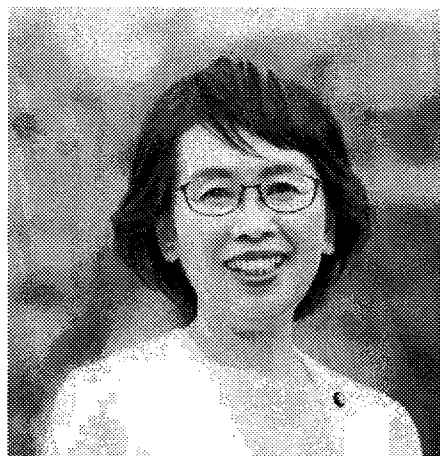
日本被団協がノーベル平和賞を受賞することを受けて、私は被団協の構成団体の一員である埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)と懇談するように、大野知事に求めました。

知事は「被爆体験やこれまでの活動を直接お聞きすることは、大変貴重な機会と考える」と。懇談の日程調整をすすめていることが明らかになりました。また、毎年、しらさぎ会が実施している慰霊式に大野知事が参加したことはありません。来年は80周年であることから、代理ではなく知事自らの参加を求めたところ、依頼があったら検討すると応じました。



芋街道沿いに4億円で購入した県有地 世界農業遺産アピールに活用を！

郷土学習の場である資料館の建設用地として、県教育委員会が取得した土地があります。現在は農業体験イベントなどの際に駐車場として利用されています。私は、地元の意見を聞いて、さんとめの木材を使ったベンチを置き、憩いの広場などとして活用することを提案しました。そして、まずは世界農業遺産の武蔵野地域をアピールする看板を県が責任を持って設置することを求めました。教育長は、関係市町や協議会の意見を丁寧に聞いていくと答弁しました。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.41

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年12月15日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

県水道料金引き上げは撤回を

第一次分の署名2690筆を提出



12月5日 公営企業管理者に署名提出

埼玉県が自治体に供給する水道用水の料金引き上げを計画している問題で、日本共産党県委員会と同県議団は、大野元裕知事あてに、引き上げ撤回を求める署名を提出しました。

現在開会中の県議会には、水道用水の料金を21%引き上げる条例案が提出されています。私は、「県の計画を受けて、複数の自治体が議会に水道料金引き上げの議案を出している。老朽化した設備の更新は、県民に負担を押し付けるべきではない。国や県が責任をもつべきだ」と求めました。



健康で文化的に暮らすには

時給1800円以上

11月27日、入間東部労働組合連合会の定期大会に地域の共産党議員団と共に参加しました。同組合の調査で、若者が普通に暮らすには月額27万4000円必要との結果が示されました。埼玉県の最低賃金は時給1078円です。私からは、力を合わせて、賃金を引き上げ、私たちの支払う税金は引き下げるように力をあわせましょうとご挨拶させていただきました。

赤紙って？ 12月8日は？

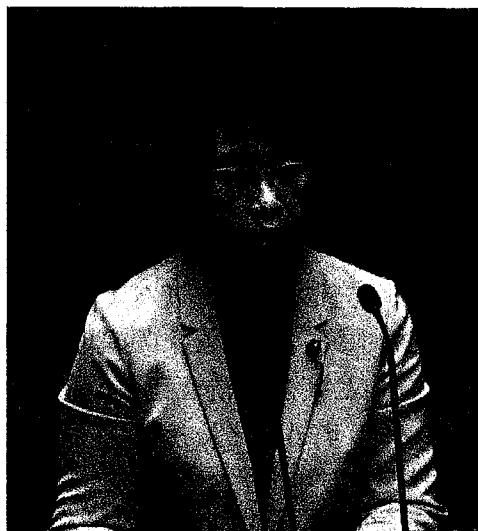
上福岡駅前で母親連鎖行動

12月8日は太平洋戦争が始まった日。赤紙(召集令状)を配布しながら、平和と命の大切さを訴えました。赤紙が届いたら、大切な家族が軍隊、戦地に行かなければならなかった。どんな思いで送り出したのか。忘れてはいけない真実です。



マイナンバーカードへの誘導も

料金に差をつけることも認められない



12月議会最終日の本会議討論中

12月議会最終日の議案採決での私の討論の一部です。

①パスポート発給手数料の改定

現行、書面申請でもオンライン申請(マイナンバーカード必要)でも2000円だったものを、書面申請は値上げ、オンライン申請は値下げとする議案については、書面申請者とオンライン申請者で料金に差をつけることから認められません。

②運転免許の新規取得や更新時の手数料の改定

マイナンバーカードへ一本化する場合は手数料引き下げ、従来の免許証で新規取得や更新する場合は手数料を引き上げとする議案も認められないと討論しました。

「核はいらない」この思いを込めて

寒風の中、12月14日に行われた「原発はいらない 富士見・三芳集会」。私は県議会視察で訪れた福島・郡山市の医療危機開発センターのことをお話しました。

東日本大震災後、産業復興のための事業として2012年に国から134億円の予算措置されて設置されたセンターです。原発被爆された県民への医療につながって欲しいと切に思います。



ノーベル平和賞受賞式の報告会

40年も前から、ノーベル平和賞に推薦されていたという被団協の運動。ふじみ野三芳の参加者とともに平和運動の継承を誓いました。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.42

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2024年12月29日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



若き就農者も懇談に参加。伊藤県議が挨拶

高温障害、カメムシ被害

県の調査は実態つかんでない

12月23日、埼玉県農民運動連合会と県の懇談が行われ、私も同席しました。この夏も猛暑で県の北部と東部ではイネカメムシによる大被害を受けました。しかし、カメムシは高温障害と認められていないことから補償対象から除外されています。

参加した米農家の方は「消毒もすべて自己負担。その上、何の保障もない。農家の減収を何とも思わないのか」と発言が続きました。県の農業予算は全体のわずか1.2%。党県議団は、予算を2%に引き上げ、研究員や支援員の増員、価格保障・所得補償を求めていること、そして、埼玉の食料自給率アップをすすめるために力を合わせましようとお話しました。



ゲストのコメディイダ駅伝部箱根駅伝も走った金子選手と



汗ながしてますか

スポーツって気持ちいい

12月15日の朝、ロードレース会場の運動公園の空気は爽快でした。会場までランニングする姿も多くみられました。私もメダルが獲れる位に走れるといのですが。ストレッチ中の金子選手があまりにもカッコよくて写真をお願いしてしまいました。

国会・県政報告 @ 北朝霞駅前

12月21日の北朝霞駅前での街頭演説で、県議会で「インボイス制度の撤回を求める意見書」が可決されたことを報告しました。

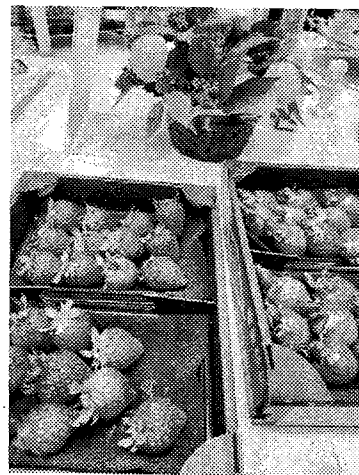
2025年も

伊藤岳参院議員と入間東部地域の議員団で力あわせて頑張ります！



2025年がスタート！

日本共産党県議団 力あわせて今年も頑張ります



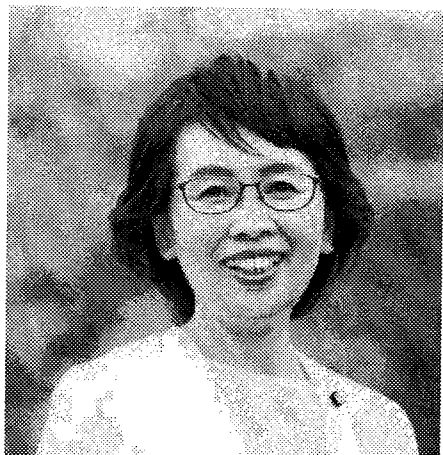
1月7日の県職員と議員の賀詞交歓会。「あまりん・べにたま」が大人気でした。

核兵器禁止条約締約国会議への参加 働きかけを

日本被団協がノーベル賞を受賞した背景には、世界の核兵器廃絶を願う世論の高まりがあります。しかし日本政府は条約に参加しないばかりか、2025年3月に開かれる第3回締約国会議へのオブザーバー参加すらしようとしません。

私は12月の一般質問で大野知事に、日本政府に対し締約国会議へオブザーバー参加することを働きかけていただきたいと質しました。

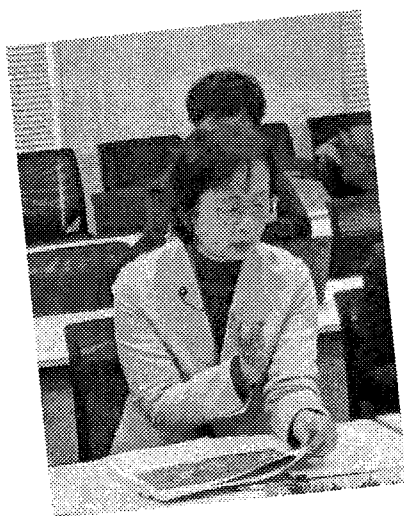
知事は「周囲を核兵器保有国に囲まれている現状があり、いわゆる核の傘で守られているものの、唯一の被爆国として核兵器のない平和な国際社会を実現するという条約の趣旨も広める必要があると思う。そのため、しっかりと条約の協議には、我が国としても、参加するべきだと考えているが、条約は国の専管事項であるため、締約国会議への対応について、県から国に働き掛けることは差し控えたい」という答弁を繰り返しました。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.43

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2025年1月12日
〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39
電話・FAX 049-269-1811



航空祭や観閲式の危険飛行・低空飛行・高速飛行 せめて事前説明を一住宅密集地上空では危険

塩川鉄也衆院議員と12月25日、航空自衛隊入間基地の航空祭や陸上自衛隊朝霞駐屯地の観閲式での自衛隊機の低空飛行問題などについて、防衛省の担当者から説明を受けました。

航空法は航空機飛行の最低安全高度を定めていますが、国土交通相が許可すれば、それ以下での飛行が可能だとしています。航空祭や観閲式では、国交省に申請した上で、展示飛行などで最低安全高度以下の低空飛行が行われていました。

塩川議員は、航空祭では広い範囲を展示飛行するにもかかわらず、トラブル時の不時着エリアが入間基地内の滑走路のみで安全性に問題があると指摘し、住宅密集地での低空飛行を批判しました。朝霞駐屯地の観閲式では、当日、展示飛行の不時着地点とされていた朝霞市内の野球場や学校で、市への事前説明が無かったことから、試合や学校公開が行われていました。もしもの状況を考えると恐ろしい限りです。

防衛省の担当者は、事前に自治体に伝えていない情報があったことを認め、説明のあり方について、今後改めると述べました。



12月16日、埼玉婦人問題協議会の皆さんが With youさいたまフェスティバルへの参加案内にいらっしやいました。2月1日の午前中に、各党の女性県議が参加して、会場からの質問にお答えする企画があり、私も参加予定です。会場は、さいたま新都心の埼玉県男女共同参画推進センター。ぜひ、ご参加ください。

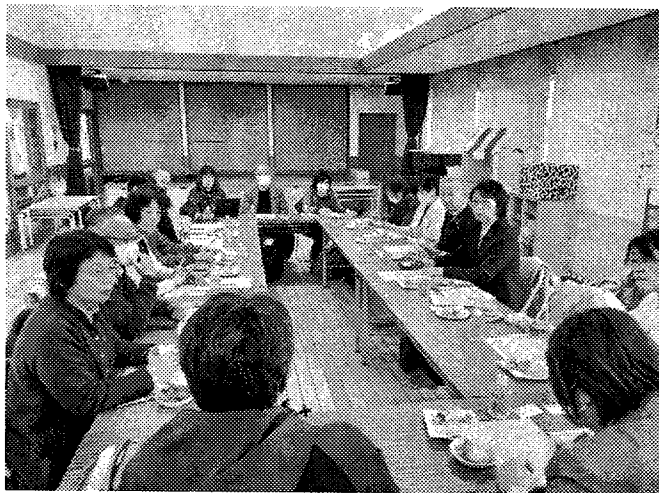
12月県議会ダイジェスト (テレビ埼玉)

○1月19日(日)
10時～10時15分

○伊藤県議が、党県議団を
代表してお話します



1月17日 ふじみ野市内の私立保育園



1月15日 私立保育園連盟との懇談(三郷市)

もっと保育に予算を

このままでは保育現場が崩壊

保育の公定価格の基準となる国家公務員の地域手当の級地区分の見直しの影響で、補助金の引き下げとなる自治体が多くあります。この見直しが、来年度は見送られたものの、実施されれば東京都との格差が一層大きくなり、保育士確保が困難になります。

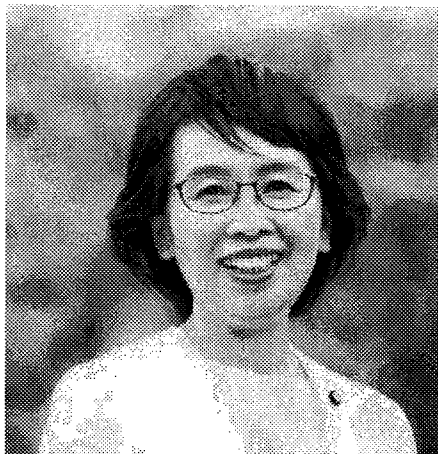
私は、日本共産党の伊藤岳参院議員と一緒に、県内の私立保育園を訪問し懇談を行っています。園長からは「結婚と同時に他の職種に転職してしまう職員がいる」「東京と月給が10万円も違うので、ベテラン保育士が辞めてしまった」「人件費を引き上げると、修繕費などの積み立てもできなくなって毎年赤字続き」と訴えが続きました。保育士の配置基準ひきあげ、処遇改善、保護者の働き方改革を合わせて実施しないと、保育現場は崩壊してしまいます。予算増額にむけて議会でも全力をつくすとお話しました。

入間東部地区 出初式

1月12日、寒風の中、ふじみ野市役所駐車場で実施されました。ふじみ野・三芳・富士見の26万4千人の命を守って頂いている消防職員と23の消防団員の皆さんに感謝します。



三芳町議員団も私も、かなり着込んでいます！



伊藤はつみ

県政のとびら NO.44

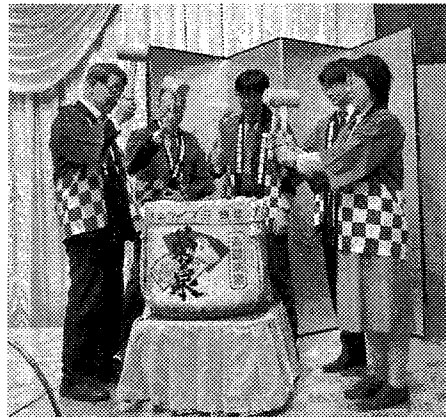
発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2025年1月26日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



春闘スタート 各地で旗開き 要求実現の年に



1月11日の埼玉労働組合連合会の旗開き。地域からたくさんの方々が参加。県政報告もさせて頂きながら、たくさんの方と交流できました。伊藤岳参院議員が「伊藤と伊藤ですが、家族ではありません」と私を紹介してくださいました。鏡開きも初体験。なかなか、気持ちの良いものでした。

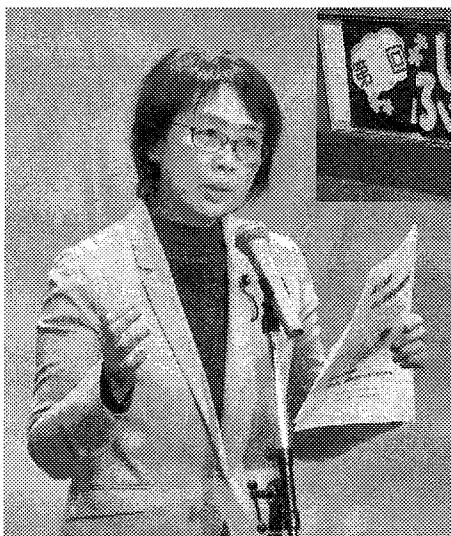
建設労働者

担い手確保と処遇改善を

「材料費が高騰、それにガソリン代も高騰で賃金が少し上がった位では追いつかない」と悲鳴のような声があがっています。まずは、消費税を下げるのが一番の経済対策です。12月県議会報告を行いながら、地域の議員とともに力をあわせますとご挨拶しました。



埼玉土建ふじみ野支部の新春のつどい



5年ぶりの開催！

「ふじみ野市母親大会」

1月18日、第15回ふじみ野市母親大会を開催することができました。私が最初に母親大会にかかわったのが24歳の時。新座市でした。あれから数十年、子育ての不安を抱えながらの共働きを支え相談にのってくれたのが、母親大会のメンバーでした。

大会でのあいさつで、埼玉県庁の中に49年前、全国に先駆けて「婦人対策室」が設置された話をしました。会場からは「え〜っ」とどよめき起きるほど、現状は男女平等からかけ離れているのだと感じました。記念講演では「軍拡より農拡を」と提唱する鈴木宣弘氏の「世界で最初に飢えるのは日本」を恐ろしくお聞きしました。(詳細は次回)

会場は上福岡西公民館
唯一残っている市立公民館

八潮市の道路陥没事故

救助第一・原因究明を



右1人目が伊藤県議、2人目が伊藤岳参院議員



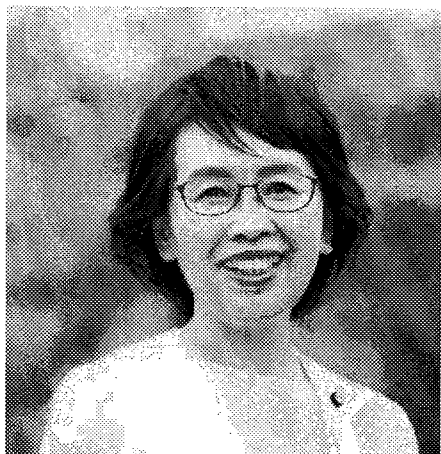
外径4.8メートルの下水道管前で撮影
(2023年中川水循環センター)

事故発生から6日目の2月2日、私は伊藤岳参院議員とともに八潮市議から現地の状況をうかがい、今後の対策について、意見交換してきました。まず、救助活動を最優先にすることが第一です。

この地域では、2023年6月に台風による浸水被害が発生しています。その8月に県営中川水循環センター(三郷市)を党市町議員団らと視察し、汚水処理管理能力を調査しました(右上写真)。日本共産党は、この時にも公営企業会計となっている下水道会計への国や県の財政投入の拡充を求めてきました。今回の道路陥没は、この中川水循環センターに近い県道交差点で発生しました。2月5日には、課題であった県の相談窓口も開設されました。

人口密集地での低空飛行は中止を ふじみ野市へ申し入れ

1月20日、ふじみ野市議団と「航空自衛隊入間航空祭における危険飛行について」申し入れを行いました。航空祭実施通知を受けた段階で行事内容を確認し、最低安全高度以下での飛行や航空交通管制圏内における制度速度を超える飛行が実施予定の場合は、中止を国に申し入れることを求めました。ふじみ野市の担当者は、検討させてほしいと応じました。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.45

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2025年2月9日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



受験生狙う痴漢は許さない 痴漢加害防止と被害者救済を

受験シーズンです。緊張しながら会場に向かう受験生を狙う行為は許せません。県警では私服や制服警官を増員して、駅や電車内での警備強化をしています。副知事との懇談では、第三者が声をあげれば、犯罪の9割超を防ぐことができるとお話ししました。

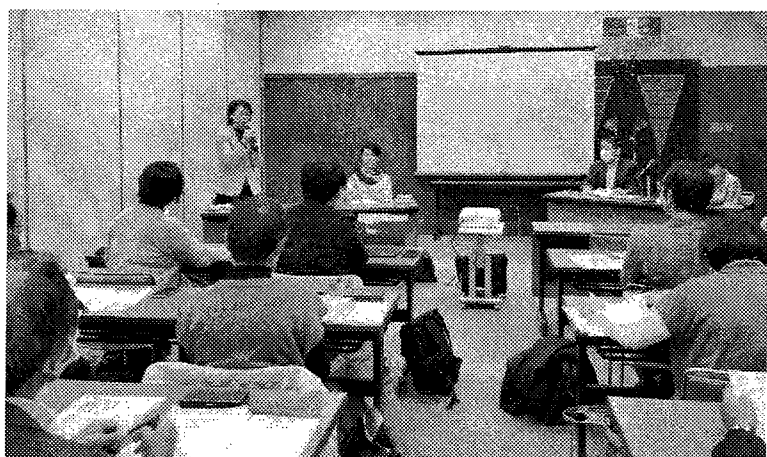
周りの受験生に知らせてください！

- 被害届は後日で大丈夫です。
- 被害にあった場合は、追試験ができます。
- 相談窓口は24時間受付。大宮駅と熊谷駅にも有り
- 受験は制服でも私服でも大丈夫です。

犯罪を見た方は・・・

声をあげてください！

これが一番重要です。



国保税値上げに悲鳴 国保学習会で交流

1月9日党県議団は「国保学習会」を開催し、党地方議員と市民が県国民健康保険運営協議会の来年度に向けた国保税試算について学びました。

一人当たりの保険税必要額は全県平均で年間7399円の引き上げです。県

担当課から引き上げ理由について、一人当たりの保険給付費の増額と被保険者の減少と報告されました。参加者からは「もう払えない。これ以上あげるのか」と悲鳴のような声が続出しました。国庫負担増額と一般会計からの繰り入れを行って、払える保険税にすべきです。各自治体での運動も広げていきましょう。

女性県議と語ろう(埼玉婦人問題会議の企画)

2月1日、埼玉県男女共同参画推進センターで行われたワークショップに、超党派4人の県議で参加してきました。「会派内で意見が違ったらどうするの」「女性県議を増やすにはどうしたら良いのか」などたくさんの質問に緊張しましたが、初めましての方々と交流でき、楽しい時間でした。





下水道管の老朽化対策

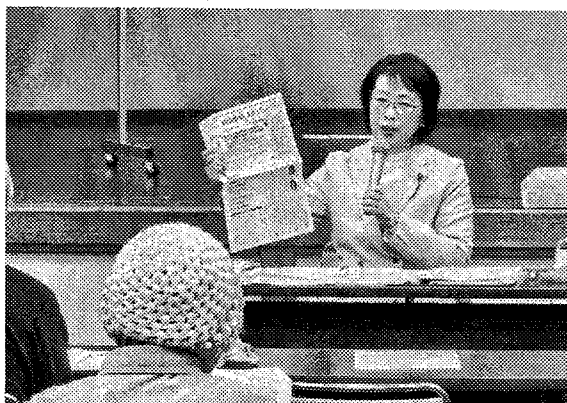
知事と懇談

2月12日、昨年10月に党県議団と党埼玉県委員会提出した新年度予算への要望について、大野知事から回答がよせられました。その際、八潮市の事故について、懇談しました。党県議団からは、「点検や老朽化などは、国がしっかり財政支援をおこなうべきであり、受益

者負担として県民に負担を押し付けるべきではない。知事からも国に強く要望していただきたい」と求めました。知事は「第三者委員会で原因究明を行い、その上で国にしっかり要望していく」と応じました。予算要望については「一つひとつの要望に真摯に向き合い可能な限り、要望に沿えるように努めてきた。厳しい財政状況のおり、要望に沿えないものもあるが最大限努めていく」と答えました。

議会報告会(ふじみ野・三芳議員団とともに)で意見交流

2月県議会は 2/19(水)～3/27(木)

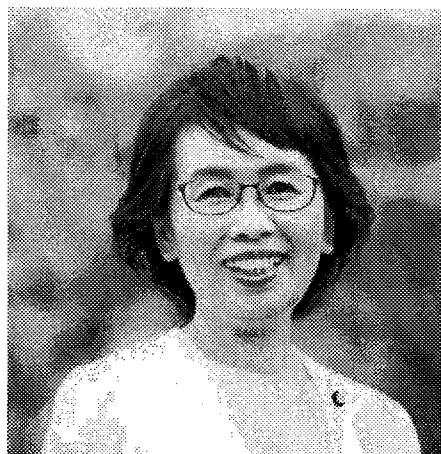


2/9 ふじみ野市上福岡西公民館にて



2/2三芳町藤久保公民館にて

「伊藤はつみ県政ニュースレター」を全世帯の皆さんに配布中です。ぜひ、お読みください。「2026年度の県水値上げは撤回を」の署名用紙も添付したところ、早速、署名が返信されてきています。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.46

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2025年2月23日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811

食と農と健康を守ろう

埼玉で4番目の西部食県連が設立

埼玉県東西南北の地域に運動連絡会ができました。呼びかけ人のおひとりは給食パン埼玉ロールの県産小麦を栽培している農家さん。大きな災害で借金をかかえたこともあるけれど、その都度みんなの協力と知恵で農業を続けていくことができたとお話しされました。

設立総会後の交流会では「お日まち」といって、収穫を祝う郷土料理がテーブルにズラッと並び、お腹いっぱいごちそうになりました。初めて学んだことは①日本で米飯給食を初めて出したのは北川辺村(加須市)②県内産小麦を使ったパンを給食に採用したのも埼玉県が全国初。埼玉の先人の運動の歴史はすごい！



朝霞市のみなさんと 県道の現地調査中



交通量が多く横断歩道だけでは危険な箇所です。信号機の設置を長年要望しています。石川けいこ朝霞市議との調査に、周辺住民の方々が寒い中、同行してくださいました。

県の新年度予算案に 県立特別支援学校の整備費

①新設 2 校設置

- ★ふじみ野市 令和11年度 150 人規模
- ・ 八潮市 令和12年度 250 人規模

②既存校の改築

- ・和光南特別支援学校 令和12年 160人増

③既存校の増築

- ・川口特別支援学校 令和8・10年 174人増

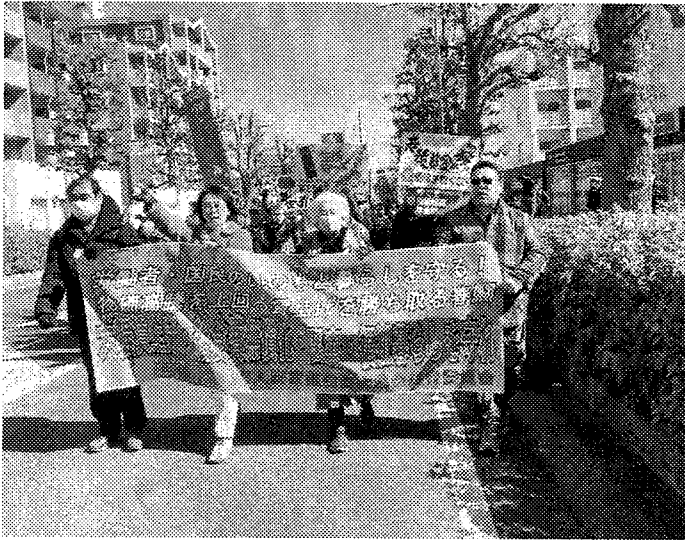
特別支援学校の過密は大きな課題です。定員が変更することでの転校など、環境が大きく変わってしまうことへの配慮が必要です。私は、児童生徒ひとり一人に寄り添った教育環境を整えていくことが大切だと思っています。

県庁は現在地で建て替える

2月17日、県議団として県に要望書を提出しました。県は①現在地②浦和美園の2か所を建て替え候補地としています。党県議団は、低予算での建て替え、商店街を守るなどの点から現在地での建て替えを求めています。



物価高騰でもう限界！大幅な賃金引き上げを 入間東部地域で住民大集会



2月23日、富士見市内で行われた住民集会に参加しました。埼玉県 lowest賃金1078円のぎりぎりで働いている人が多数います。物価高騰を上回る賃金引き上げが必至です。集会では「頑張っても頑張っても保育士の給料はあがらない。でも声をあげないと変わらないので職場のみんなで頑張っている」など力強いスピーチが続きました。

私は、県の新年度予算案や上下水道企業会計の問題点について報告をさせて頂きました。

八潮道路陥没で申し入れ 復旧など負担は国と県の責任で

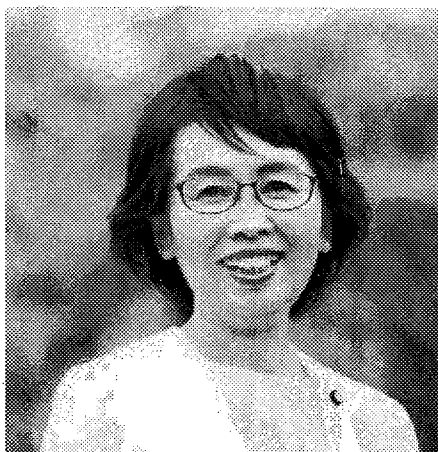
2月19日、党県議団は緊急要望を齋藤邦明埼玉県議会議長に提出しました。

内容は①過去の下水管腐食等による道路陥没事故の一覧を示すこと、②過去の下水道点検の状況報告を行うこと、③被害者の声に誠実に耳を傾け、補償を行うこと、④事故後の対応への財源負担は、国と県の責任とし、利用者負担増は行わないことです。

埼玉県には議長を通して要望が提出されます。



議長室で齋藤邦明議長に要望書を提出



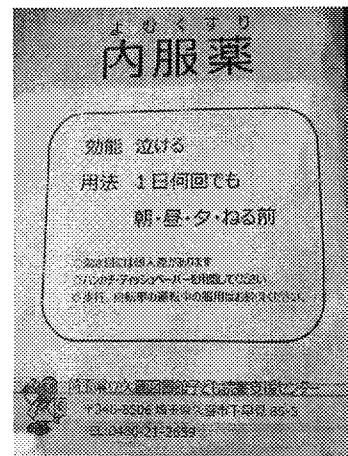
伊藤はつみ

県政のとびら NO.47

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2025年3月9日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



薬袋に読む薬が入ってます
効能は「泣ける」

県立図書館(久喜・熊谷)を廃止・統合するのか

県立久喜図書館を視察

埼玉県教育委員会が北部地域振興交流拠点施設(熊谷市内)に窓口をおく新図書館を新設する方針を決定しました。そして、現在、久喜市と熊谷市にある県立図書館 2 館を統合廃止するとしています。新図書館はデジタル化を徹底して進め、閲覧スペースは最小限として、将来は「非来館型」サービスを中心としていく構想です。

私は、2月22日、県立久喜図書館を視察しました。久喜図書館の特徴的なサービスが、「障害者サービス」です。点字図書はもちろん、デジタル録音図書やユニバーサル絵本など、さまざまな読書のバリアフリーのためのコーナーがありました。子ども読書支援センター機能も、久喜図書館の特徴です。おはなしボランティアさんは53人。市町村図書館への指導にも出掛けます。司書の配置が基準化されていない特別支援学校の図書指導にも力を入れています。多様な人が本に触れる機会を広げ、楽しませてくれる工夫あふれる図書館でした。非来館型も便利な点がありますが、温かみのある図書館も地域には必要だと感じました。



第7次エネルギー基本計画に驚きと怒り

3月1日の鶴瀬駅前での34回目の集会

「原発削減」から「原発最大限活用」へと大きく後退した計画。私からは「ビキニデーに非核を訴え、原発の危険性を考え、声をあげる粘り強い運動に敬意を表します」とご挨拶させて頂きました。

議会報告(ニュースレター)県水引き
上げの撤回求める署名へのご協力あり
がとうございます。4月に県へ提出予定
です。引き続きご協力下さい。



予算特別委員会 3月11日から審議はじまる 東日本大震災から14年 黙祷をささげました



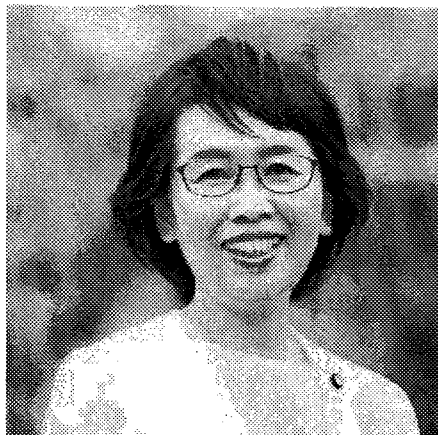
新年度の予算審議は6日間で、3月24日に委員会での討論採決が行われます。初日の3月11日、委員会冒頭に東日本大震災被災者の皆さんへ黙とうをささげました。

予算特別委員会の構成は32人(自民20 民主フォーラム4 公明3 県民3 無所属1 共産党1)です。質問時間は1部局300分を議席数で案分するので、共産党の持ち時間は、1部局5分しかありません。私は、この持ち時間を最大限生かして追求し提案しながら党県議団の代表として論戦中です。

障害者医療助成の予算 5年間で8億円も減

精神障害者2級への医療費無料制度の適用が当初予算に盛り込まれました。しかし、2級への適用範囲は、精神科通院治療のみで令和8年1月から。入院は対象外です。そもそも入院については、知的・身体障害者は対象で精神1級は対象外です。

精神病床の入院に関して、国も県も入院医療から地域生活へという方針です。私は、「地域へ行く方は移行を進めるべきだが、長期入院が続いているのは、家庭では介護しきれない、重度者の受け入れ先が地域にないからだ。これは、精神障害者の方の責任ではない。入院も対象にすべき」と強く求めました。これに対して保健医療部長は国の方針を繰り返しました。精神1級の入院は1.3億円あれば可能です。私は削られてきた8億円をもとに戻せば十分可能だと求めました。しかし、県は国の制度として創設するように求めていくという答弁に留まりました。



伊藤はつみ

県政のとびら NO.48

発行 日本共産党 伊藤はつみ県政事務所 2025年3月23日

〒356-0050 ふじみ野市ふじみ野3-10-39

電話・FAX 049-269-1811



県消費生活センター相談窓口

AI ボイスボット対応でいいのか

消費生活相談は年間9000件以上。相談内容は、ネット通販の被害や暮らしのレスキューなどの事例、最近の特徴では、ゴキブリが出たから駆除してというの也有ります。県は消費生活相談センターの電話対応を、相談員不足を補うためだとして新年度からボイスボットで行う方針です。ボイスボットとは、対話型知能 AI が音声聞き取って自動応答するシステムのことであります。

令和2年度に県消費生活センター 4 カ所のうち川越と春日部センターが廃止されました。市町村の相談体制が整ったからという理由です。しかし、県内各地で相談員が確保できず、広域化・共同化(秩父地域や東松山地域など)がすすんでいるのが実態です。

私は「なかなかオペレーターと話ができないなど、様々な苦情が予想される。実証実験で苦情があれば、やめるべきだ。相談員は非正規雇用である。正規化して処遇改善しなければ人材は確保できない」と求めました。



イネカメムシ被害は水田の46%

もう稲作は続けられない

昨年のイネカメムシ被害では、埼玉県農業災害対策特措条例が適用されず、補償されませんでした。私は「これ以上、稲作農家を減らさないように、イネカメムシ被害に対しても適用させるように条例改正がまず必要だ」と求めました。

農林部長は「この条例は、天災による災害によって、農作物に甚大な被害が発生した場合が対象。

イネカメムシは適切に防除することで、被害を軽減できる」として、条例の対象とすることは難しいと答えました。

埼玉県内のイネカメムシは2018年絶滅危惧類とされていましたが、この2〜3年大発生。原因はまだ謎です。河川の土手などに群生する牧草のジョンソングラス(和名は西蛮モロコシ)に寄生しているという研究もあります。私は、「県の病虫害防除所の体制を強化して害虫の大量発生原因を突き止めるべきだ」とイネカメムシ研究者との共同も提案しました。

朝霞市の「宮戸を住みよくする会」の皆さんが、3月7日、県警に信号機設置要望書を提出。寒い中、会独自で交通量調査を実施されました。県警も交通量調査と現地調査を約束して検討することになりました。

